事業番号	276

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市体育協会助成事業							担当部	教育委員会事務局	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業以外				担当課	スポーツ推進課	
	事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	スポーツ推進係	
	総合計画分野別計画 主目的	4 教育文化 14 スポーツ 1 スポーツ活動の機会を充実します									
	総合計画分野別計画 副目的									実施計画対象	
	予算区分	款	10	項	6	目	1	大	3	中	5
	根拠法令・個別計画	社会体育振興費補助金交付要綱									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	健康で生きがいのあるまちづくりを推進している体育協会の事業費補助を行い、より多くの市民がスポーツに親しむようにする。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 体育協会事務局費、市民登山開催事業、ジュニア育成事業、スポーツ教室開催事業、大会運営費、講習会開催事業、強化普及費、助成事業費、出版表彰費などの事業費を助成した。 ・補助対象人件費 常務理事1名、局長1名、正規職員5名、臨時職員0名の計7名の人件費を補助対象とした。 ・補助対象事業 市民登山、ジュニア育成、各種スポーツ教室の開催、女性スポーツ大会の開催、指導者の養成等、愛知スポレクフェスティバル・県青年体育大会選手派遣事業、ジュニアクラブの設置・助成、スポーツ振興事業・小学校区スポーツ振興会助成事業、機関紙「体協だより」の発行 ◆26年度直接経費の内訳 小牧市体育協会補助金（77,124千円） ◆27年度直接経費の内訳 小牧市体育協会補助金（107,134千円）									
	受益者負担	無									

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
	費用	直接経費		千円	117,784	78,515	77,124	107,134
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	118,310	79,041	77,650	107,660
		対前年比		%		66.8	98.2	138.6
	財源	一般財源		千円	118,310	79,041	77,650	107,660
		国・県支出金		千円	0	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	276

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
ジュニア育成事業開催教室数	箇所	目標	35	35	35	35
		実績	35	33	31	
加盟団体補助件数	団体	目標	41	41	41	41
		実績	41	40	40	
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
ジュニア育成事業参加者数	人	目標	1,500	1,500	1,500	1,500
		実績	1,289	1,359	1,539	
スポーツ振興会登録者数	人	目標	6,500	6,500	6,500	6,500
		実績	5,730	6,012	7,182	

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	女性スポーツ大会を始め、幅広い層に対してスポーツをする機会を提供できた。 ジュニア育成事業では、加盟競技団体の主管のもと、各種目のスポーツ教室を実施し、小学生及び中学生を対象に技術指導を行うことで、ジュニア層の育成を図ることができた。
	事業実施における課題	（公財）小牧市体育協会は、市民がスポーツに親しむことができる機会を創出し、多くの参加者を集めているので、「成人の週1回以上のスポーツの実施率」が50%以上になるようにする。 また、25年度外部評価において、「本市のスポーツ推進体制がより有効なものとなるように、他自治体の体制の研究も踏まえ、市（スポーツ推進課）と体育協会の役割分担の整理を行う。」との取組方針が出されており、検討中である。
	事業を縮小・廃止したときの影響	スポーツ活動の機会や環境が減少することになり、市民総スポーツに向けた取り組みが、図りづらくなる。委託事業も含めて体育協会が事業の運営主体となることが望ましい。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	女性スポーツ大会の種目が、市民体育大会の種目と一部重複しているので、「女性スポーツ大会」を廃止し、「レクスポ小牧2015」に改善する。 現在、市が直接実施している業務について、体育協会が所管することが適当であるかどうか、引き続き精査していく。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　／　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	各種事業を展開することにより、市民のスポーツに対する認識を深めることができた。
	28年度以降の改善案	（公財）小牧市体育協会に、今後もスポーツ推進の担い手として事業の継続、発展に努めてもらうよう指導していく。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。 本市のスポーツ推進に関わる方針策定、計画作成、事業実施などについて、市スポーツ推進課と体育協会の役割分担を、より有効な体制にしていくこと。